

NPO法人 相馬フォローアークチーム ニュースレター * 3月号 *

2015年度

Vol. 10

発行日 平成28年3月1日



東日本大震災から5年になります。住環境などが整っていく一方、子どもたちは、成長と共に震災のとらえ方が変化しているようにみられます。私たちができることは微々たるものかもしれませんが、引き続き、子どもたちに寄り添いながら支援をしていきたいと考えております。

スクールカウンセラーとして訪れる学校で卒業式の歌の練習が聞こえてきますと、もう春が近づいていると感じ、ちょっぴり切ない気持ちになります。3月号のニュースレターでは、『中村二小の豆まき』、『磯部小のなわとび大会』などについてお伝えします。



▷ 中村第二小学校・「恒例の“豆まき”」

2月3日に中村第二小学校で節分の「豆まき」が行われました。まず、初めに豆まきの歴史や「鬼は外」「福は内」というかけ声について、校長先生が説明をしてくださいました。その後、各学年の代表者による、“自分の中の追い出したい鬼”についての発表があり、「泣き虫鬼」、「怒りんぼう鬼」、「忘れん坊鬼」など、様々な鬼について正直に！話してくれました。



“追い出したい鬼”の発表の後は、いよいよメイン・イベントの豆まきです。年男、年女にあたる5年生の児童が他学年の教室を回り、豆をまきました。しかし、中村二小の豆まきは一味違います。5年生の児童が豆をまくだけでなく、クイズを出したりするなど、バラエティが豊かで、とっても楽しませてくれる豆まきなのです！

最後は、みんなで豆を真剣に拾い、楽しい豆まきになりました。



▷ 磯部小学校の「なわとび大会」

磯部小学校では「なわとび大会」が開かれました。1年生～3年生の様子を見させていただくと、どの子も真剣に取り組んでいました。とくに2・3年生はインフルエンザで学級閉鎖になったあとなので心配しましたが、そのようなことを感じさせないほど、

元気いっぱいになわとびを跳んでいました。本番で緊張してしまって思うように力を発揮できない児童もいれば、自己記録を更新する児童などさまざまです。数週間前よりも見違えるように跳べるようになっている児童もいて驚かされました！

一生懸命に体を動かした日の給食は、格別においしかったことでしょう。



▷ スタッフのコラム⑨「鬼の正体とは・・・」

節分の時期に小学校で「自分の中の追い出したい鬼」を考える取り組みがなされており、とても興味深く感じた。「鬼」という言葉だけでも十分に恐怖心をあおるものだが、その鬼が自分の中にいるという発想に、まず驚かされた。鬼は外から攻撃してくるものとはばかり思っていたのが、「鬼が自分の中にいる…」というとらえ直しを求められるのだ。これまでの考えを180度転換させられるのだから、子どもたちにとっては、青天の霹靂(へきれき)といっても過言ではない大事件ではないだろうか。しかし、そのような発想の大転換を素直に受け止められるのは、子どもの柔軟なこころのなせる業なのかもしれない。学校の廊下を歩きながら、子どもたちが描いた表情豊かな鬼の絵を観て、ふと思った。「今年は恵方巻きを食べ損ねてガッカリ…」と未だに悔やむ私の中にいる鬼は、「食いしん坊鬼」か？それとも「幸せを願うすぎる鬼」なのか……。(今井)



* 訪問活動日 *

相馬フォロアーチームでは、カウンセラーが児童生徒の心のケア活動、教職員や保護者への相談活動を行っております。

場所	2月の訪問日等
中村二小	2,3,9,10,16,17,23,24日
中村二中	2,4,9,16,18,23,25日
磯部小	4,18,25日
磯部中	1,8,15,22日
日立木小	8,26日 (世界の医療団からの派遣)
山上小	10,29日 (世界の医療団からの派遣)
アート・メゾンでの相談等	32件



* お問い合わせ先 *

お子さんのことで、ご心配なことはありませんか？

相談室にて、無料の相談を承っております。下記までお気軽にご連絡ください。



〒976-0042
福島県相馬市中村2丁目2-15
LVMH子どもアート・メゾン
Tel: 0244-35-6200 / Fax: 0244-35-6215
Mail: sft@soma-ft.org
HP: <http://www.soma-ft.org/>